

令和6年度 音楽科 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心となる単元 ◆カリキュラムデザイン	授業改善に向けての具体的な手立て	◎ 成果 ● 課題
知識・技能	<p><2年></p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな楽器を使ってリズムに乗って演奏方法を工夫することはできるが、他の楽器の音を聴きながら演奏することが難しい児童がいる。 <p><3年></p> <ul style="list-style-type: none"> リコーダーの運指はスムーズに行えるが、音色やタンギングに気を付ける児童が少ない。 	<p>○いろいろなねいろをかんじながらえんそうしましょう。</p> <p>◆ねいろやはくをかんじながらがっきをえんそうしましょう。</p> <p>○リコーダーのえんそうのしかたをおぼえましょう。</p>	<p>グループでの活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ楽器の人や違う楽器の人とグループを組んで、いろいろな音色に自分の音を溶け込ませる学習活動を行う。 <p>いろいろな演奏方法</p> <ul style="list-style-type: none"> そっと息を出すようにするために、「タンポポを飛ばすように」「シャボン玉を膨らますときのように」など、比喩的な表現を用いて助言をする。 	
思考力・判断力・表現力等	<p><6年></p> <ul style="list-style-type: none"> フレーズや曲の強弱、音の重なり、それらの働きが生み出すよさや面白さを分析することはできるが、それを表現することに課題がある。 	<p>○曲想の変化を感じ取って歌ったり演奏したりしよう。</p>	<p>表現の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 強弱について手拍子で確認したり手や体を動かして表現をしたりして、体全体で体感させる。 <p>学習環境の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲の特徴を個々で分析した後、グループで意見を出し合い、いろいろな考えを共有したりそれを表現して確かめたりする活動を行う。 	
学びに向かう力・人間性等	<p><4年></p> <ul style="list-style-type: none"> 歌声のひびきやリコーダーの音色の重なりを感じ取れない児童がいる。 <p><5年></p> <ul style="list-style-type: none"> 2部合唱や2部合奏をするときに、自分の演奏をすることに集中して、互いの音を聴き合うことが難しい児童がいる。 	<p>○歌声と楽器の音が重なり合う響きを感じ取りましょう。</p> <p>○気持ちを合わせて互いの音を聴き合いながら演奏しましょう。</p>	<p>学習環境の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌とリコーダーの互いの音色を聴いて、ペアや数人のグループで意見を交流し合う場を設定し、互いの良さを認めあう活動を行う。 オクリンクなどの録画機能を使って自分の音を確認したり、ペアやグループで音を聴いてお互いアドバイスをし合ったりするなど、学習形態を工夫する。 	